

雨
ん
下
森
さ

SHIZUKUISHI
Slow Travel Booklet





雨
ん
下
森
さ

SHIZUKUISHI
Slow Travel Booklet



平石に春がきます。

辛抱づよい根雪の下から、

ほのかに湿気た朝の空気から、

春がおきます。

これは誰かの物語。

まちの一年をめぐる

いろんな誰かの物語。





生森、石倉森、鉢森、稗糠森。
七ツ森の響きにあこがれて、
勘十郎森、見立森、三角森。
北へと車を走らせた。



それなら豊石川園地だね、と
見わたす桜がそれはそれは、と
教わって来ました。
盛岡駅で待ち合わせて、
ローカル線に揺られて来ました。



知らないまちの
見慣れない場所で、
なつかしい気持ちを書した。





お彼岸には来られなくなって
季節外れのお線香。
もう居ない人、
もうない場所に、
会える気がして帰ってきてる。



ふかく、ふかく眠られたのは、
閑かな森の夜のたまもの。
高原のペンション。
おはようのこだま。



しとしと空を見上げて
ハの宇眉毛のわたしたち。
お宿の犬も困り顔。
仕方ないよね。
そんな日もある。



百円、ころん。
朝穫れやさい。
スマートフォンでは
買えません。





よしゃれ通りに市が立つ。

奥羽の山々を見おろす

入道雲の力こぶ。

通りを埋める軽トラ屋台。

子らの額の玉の汗。

夏が来た。

夏は行く。





ソフトクリームを
落とした子供が、
コーンだけを握りしめ、
白髭つけた赤鬼みたいに
泣いていたのです。











かがやく夏を寄り切って
みのりを抱えた秋がきます。

こがねに波打つ稲穂も、
枯れゆく山も、
真白の季節へと続く
美しいパトン。



朝から溪流に挑み、
温泉で溶ける。
昨日の今ごろは東京で、
メールに追われて
いたなんてね。



どこで、なにを
と尋ねると、
あそこで、これを
と言われます。

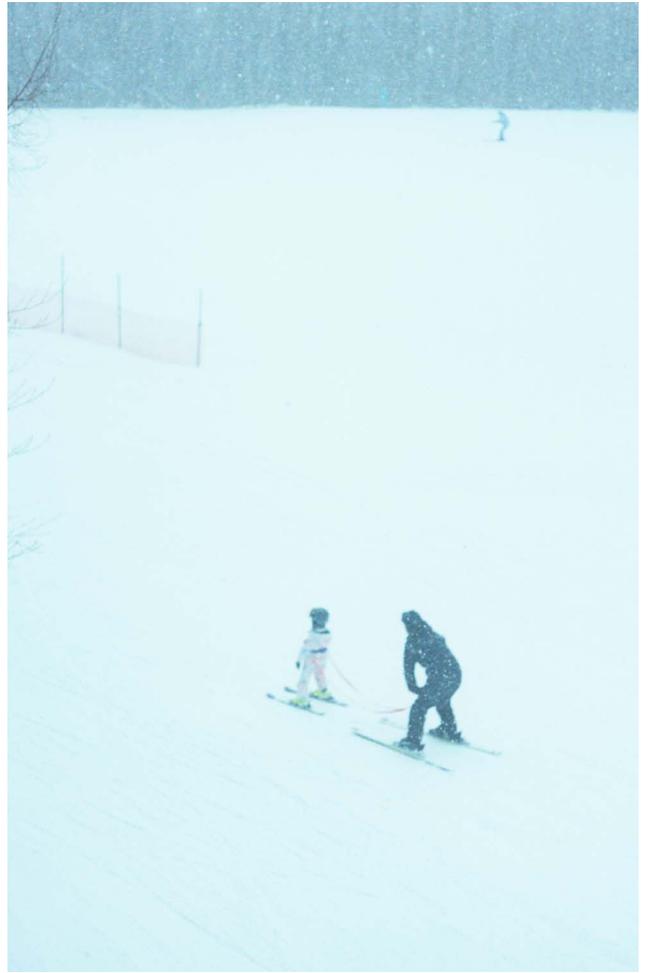




冬に来るといい。
彼は言いました。
なるだけ寒い時に
来てみてご覧。

小岩井農場の深雪、
零下のゲレンデ、
宙を滑る白鳥、
凍えるペテルギウス。







赤い背中の新幹線で
ひとり里帰りします。
スマホが光って母さんが
駐車場にいるから、って。



ただいま。
おかえり。
痩せた？
ん。ぜんぜん。



雫石町について

雫石町は岩手県の中中部、秋田県との県境にある山々に抱かれた盆地。県都・盛岡市に隣接しながら、小岩井農場をはじめ、温泉やスキー場など多くの見どころが点在する自然豊かな町です。

東京	秋田新幹線	雫石
	約2時間半	
花巻 空港	バス	盛岡
	約45分	JR
		雫石
盛岡 I.C	国道46号	雫石
	約20分	

雫石町役場 観光商工課

〒020-0595 岩手県岩手郡雫石町千刈田5-1
TEL 019-692-6407 FAX 019-692-5208
kankou@town.shizukuishi.iwate.jp



〈写真でみる雫石〉
visit_shizukuishi
Instagram

一般社団法人 しずくしいし観光協会

Shizukuishi Tourism Association
〒020-0524 岩手県岩手郡雫石町寺の下46-3
TEL 019-692-5138 FAX 019-692-5914
iwate@shizukuishi-kanko.gr.jp
<https://shizukuishi-kanko.gr.jp/>

交通アクセス
詳細はこちら



観光協会
ホームページ



雨ん下 森さ(あめんした もりさ)

2024年3月 発行

発行 雫石町
編集・デザイン homesickdesign
写真 吉田健太郎写真事務所

本書記事・写真の
無断転用を禁じます。





雫石町